

第 29 回 茅野市・原村地域公共交通活性化協議会 議事録

[日時] 平成 30 年 6 月 20 日(水) 10:00～11:10

[場所] 茅野市役所 8 階大ホール

[議事]

1. 開会
2. 会長あいさつ
3. 交代委員等紹介
4. 案件
 - (1) 長野県生活交通確保維持改善計画に「本線（岡谷・茅野線）」を位置づけることについて
 - (2) 平成 29 年度協議会事業報告及び決算認定について
 - (3) 平成 30 年 10 月からのバスダイヤ変更等について
 - (4) 茅野市・原村生活交通確保維持改善計画について
 - (5) 公立諏訪東京理科大専用スクールバス運行に伴うバス車両の併用について
 - (6) その他
5. 報告
 - (1) 平成 29 年度バス運行の状況等について
6. その他
7. 閉会

[出席者] 1. 委員●名、庁内委員・事務局●人、傍聴者●名、別紙のとおり

[1. 開会] 【事務局 地域戦略課長】

[2. あいさつ] 【会長 茅野市長】

[3. 交代委員等紹介] 【事務局 地域戦略課長】

[4. 案件]

(1) 長野県生活交通確保維持改善計画に「本線（岡谷・茅野線）」を位置づけることについて

—— 説明 —— 【事務局、長野県諏訪地域振興局】

【会長】

説明のとおり、本協議会に岡谷市、諏訪市、下諏訪町の住民の皆様に入っていただき、岡谷・茅野線を地域間幹線系統として生活交通確保維持改善計画に位置付けるということを採択していただくこととなります。

それでは、地域の住民の皆様、利用者の皆様の意見を反映させなければなりませんので、本日出席いただきましたそれぞれの皆様からご意見をいただきたいと思っております。

【岡谷市住民】

岡谷市では持続可能な公共交通の構築を目指してシルキーバスの運行を進めています。

その際、岡谷・茅野線は、地域間を移動する足として重要な路線であることから、この路線との接続に配慮して利用者の利便性向上に努めています。

このため、岡谷・茅野線を存続させることが持続可能な公共交通の大前提となります。

一人でも多くの方に利用していただけるよう是非、岡谷・茅野線を幹線として存続させていっていただきたいと思います。

【諏訪市住民】

本線は、地域間幹線バス路線として住民に認知されており、諏訪地域を縦断するバスとして通勤・通勤のほか買い物や通院に利用されております。

駅や学校、病院など、生活に必要な施設を経由していることから、地域住民として生活を維持していくために本線を存続していただくよう要望いたします。

【下諏訪町住民】

岡谷・諏訪・茅野方面へ行ける本線は、地域のバス交通についてはとても心強く思っています。実際、町内の利用者も多く、毎日の通学・通院などで日々お世話になっているという声も多く聞かれます。

近隣地域をつなぐ路線バスがあることで町全体も大変助かっています。

下諏訪町は高齢化率が高く、自動車に乗らない年配も多く、町外の病院や商業施設を利用する際の住民の足になっていただいていると思っています。

このため、ぜひ、地域の重要拠点を結ぶネットワークとして運行を続けていただきたいと思います。

【茅野市住民】

茅野市では平成 28 年 10 月より新たなバス交通の運行を開始し、これまでであった福祉バス・ビーナちゃんと路線バスを再編成し、持続可能なバス交通体系の再構築を目指しているところであります。

岡谷・下諏訪・諏訪・茅野を結ぶ岡谷・茅野線は諏訪地域を横断する大きな役割を担っていると考えております。茅野市のバス交通のほとんどは、茅野駅を発着することから沿線の住民だけでなく、支線の乗り継ぎについても最重要な路線であると考えています。

生活の足の確保や、地域間の交流をさらに進めるためにも、この岡谷・茅野線の運行が継続することは非常に有益であると考えています。

今後も運行が継続されるようお願いしたいと思います。

【会長】

それでは、岡谷・茅野線を長野県的生活交通確保維持改善計画に位置付けるということでもよろしいでしょうか。拍手をもって、ご承認をいただきたいと思います。

(拍手)

ありがとうございました。それでは、岡谷・茅野線はこの計画に位置付けることとなりますのでよろしく願いいたします。

(2) 平成 29 年度協議会事業報告及び決算認定について

—— 説明 2 ——

【事務局】

【会長】

ご意見・ご質問はありますでしょうか。

ご意見は無いようですので、よろしければ拍手をもって承認をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございました。

(3) 平成30年10月からのバスダイヤ変更について

—— 説明3 ——

【事務局】

【会長】

ご意見・ご質問はありますでしょうか。

ご意見は無いようですので、よろしければ拍手をもって承認をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございました。

(4) 茅野市・原村生活交通確保維持改善計画について

—— 説明4 ——

【事務局】

【会長】

ご意見・ご質問はありますでしょうか。

ご意見は無いようですので、よろしければ拍手をもって承認をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございました。

(5) 公立諏訪東京理科大学専用スクールバス運行に伴うバス車両の併用について

—— 説明5 ——

【事務局】

【会長】

ご意見・ご質問はありますでしょうか。

ご意見は無いようですので、よろしければ拍手をもって承認をお願いいたします。

(拍手)

ありがとうございました。

(6) その他

【会長】

ご意見・ご質問はありますでしょうか。

せつかくの機会ですので、運行事業者の方でお気づきの点がございましたらお願いいたします。

【委員】

3路線運航をさせていただいており、特に、デマンド交通の利用頻度、満足度が上がってきていると考えています。また、10月から新たな商業施設への乗り入れということで、ぜひ、多くの方に

ご利用いただきたいと思います。

昨今、高齢者の交通事故が非常に多くなってきております。ぜひ、公共交通を利用していただきたいと思います。

【委員】

茅野市内で5系統、原村循環線を運行させていただいております。

昨年も時刻改正し利用しやすいパターンになってきているとともに、今年度もバス停の新設など実施されるということで、さらに、利用しやすい運行形態になるのではないかと考えていますので、地域の方にはご利用いただければと思います。

【委員】

日々、安心安全をお客様に届けお客様を増やそうと努力しておりますが、年々利用者が少なくなってきており、今年度から運行系統の見直し、ダイヤの見直し等々の検討を進めていくということで、本日の資料1にも記載させていただいておりますので、今後、調整させていただければと考えております。

[5. 報告]

(1) 平成29年度バス運行の状況等について

——資料説明（資料6）——

【事務局】

【会長】

ご意見・ご質問はありますか。

【委員】

茅野市のフリー降車、原村ではフリー乗降ということで取り組まれており、満足度も非常に高いと評価されております。

ここで、フリー乗降等の導入における制度上の問題と満足度調査結果が利用者に対する調査であるのかお聞きしたい。

特に、フリー降車については、茅野市の郊外においては非常に重要な手段となるので、今後の展開などもお聞きしたいと思います。

【事務局】

フリー降車区間については、交通安全上の問題で交差点付近や見通しの悪いところ、また、交通量の多い道路などについては許可が下りませんが、集落内道路などであれば可能であり、可能な限り広げていきたいと思っています。

また、車両についてはジャンボタクシーであれば可能ですが、バス車両となると安全上の問題があるということで、今後、さらに検討を進めていきたいと考えています。

次に、利用者満足度については、利用者にお聞きした意見ということですので、そのようにご覧いただければと思います。

【委員】

もう一点、フリー乗降についてはドライバーも神経を使うと思うが、ドライバーから具体的にそのような話はあるでしょうか。

【委員】

当社で運行しているのは9人乗りのジャンボタクシーで、乗用車的な扱いであり、特にドライバーから精神的に負担があるなどの話はありません。

ただし、冬期、凍結している際などはお客様にもご理解いただきつつ対応している状況となっている。

【委員】

フリー乗降、フリー降車については、郊外で成り立つ仕組みだともいますので、今後も検討して行っていただきたいと思います。

【会長】

その他、ご意見・ご質問はありますか。

ご意見は無いようですので、ありがとうございました。

[6. その他]

事務局より、1社車両を購入しラッピングを施し10月からをめぐりに導入を進めている状況を説明。

[7. 閉会]

【副会長 五味原村長】